

講番号	内 容	ページ数
第01講	「品詞」「『文。』のルール」「語句節」「動詞の活用」概論	6
<b>文の組成は単語から品詞で文役</b>		
第02講	『文。』に「文役」、「語句節」と「品詞」	7
第03講	厳格区別、「自動詞」と「他動詞」	2
第04講	「品詞」の理解の関門「形容詞」	4
第05講	まずは、「副詞」を「排除」すべし	5
<b>品詞の拡がりやと文の転換</b>		
第06講	「前置詞」なんて空疎な呼称はやめて、『成句詞』+「後属役名語句」=「形容句か副句」でいくべし!	4
第07講	「成節詞」が「名節」「副節」をつくる	13
第08講	「疑問詞」も「名節」をつくります!	5
第09講	大きな「品詞」と「文役」のまとめ	5
<b>動詞の活用・転換とその利用</b>		
第10講	「動詞」の「活用」「転換」に「転用」	6
第11講	「不定詞」の本質、『文。』の「簡略的節化」	7
第12講	「能動分詞」と素直に言いましょうよ	6
第13講	「受動分詞」と「完了分詞」	7
第14講	『分詞』の「副詞的用法」⇒「準副節」	8
<b>動詞・形容詞の運用の実態</b>		
第15講	「名形副」系と「他動詞」の様々な「目的役」類	5
第16講	「あとひき他動詞」と「固有必須の副詞」	5
第17講	止まらない「あとひき形容詞」というものもあります	5
第18講	「人に何かを(して)あげる系の他動詞」の「授与動詞」	4
第19講	ようやく登場、「拡術動詞」と申します	7
第20講	特殊な「拡術動詞」・・・「使知動詞」	6
第21講	「避断定的補完動詞」でも「勝手な推量」や「外形的判断」ができます	3
<b>『文。』から名語句を引出し、残った「文」でその名語句を修飾する方法</b>		
第22講	『文。』の「形容詞化」から「名詞化」の作業のための手段「形容節詞」・・・「関係代名詞」なんて嘘こくな	10
第23講	「傍流的形容節」は「役外族」の「名語句」由来	9
<b>主観的表現と条件</b>		
第24講	「避断定」「推量」「責任回避」が仕事、「助動詞」	12
第25講	「単純条件提示文」と「仮想条件提示文」	15